

経営比較分析表（令和4年度決算）

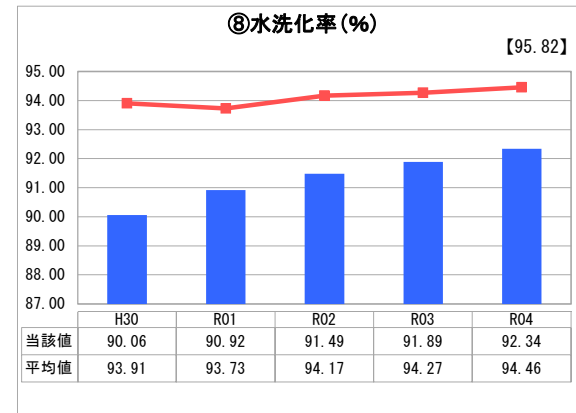
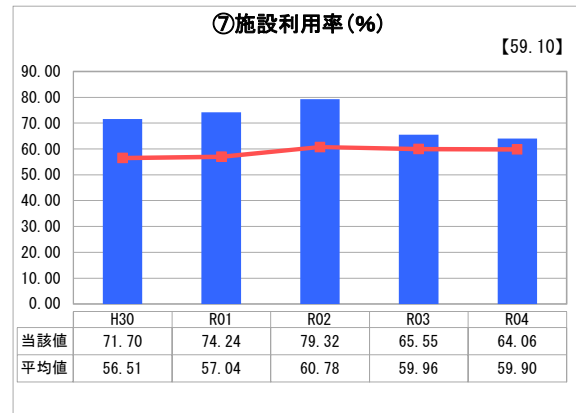
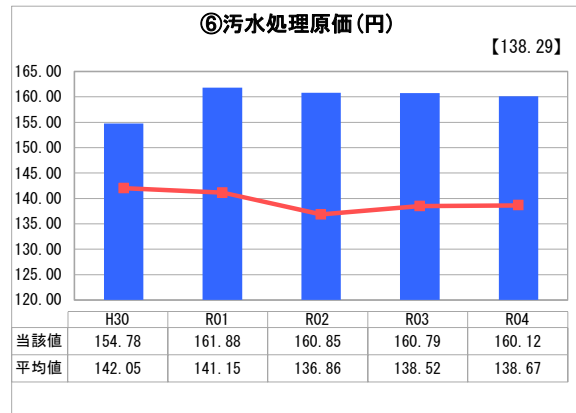
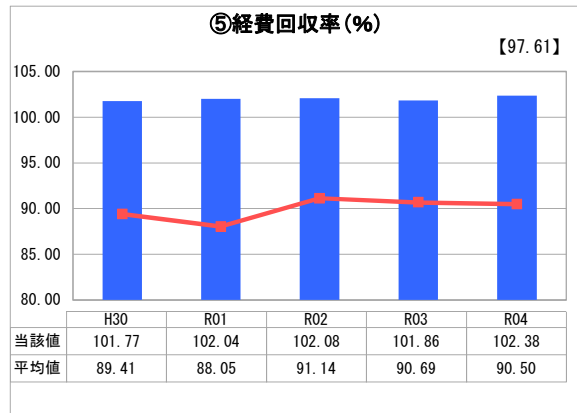
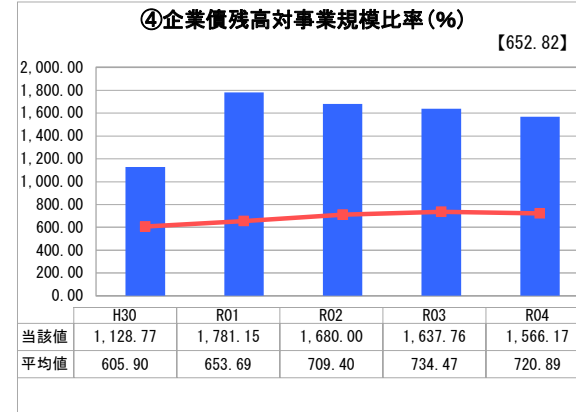
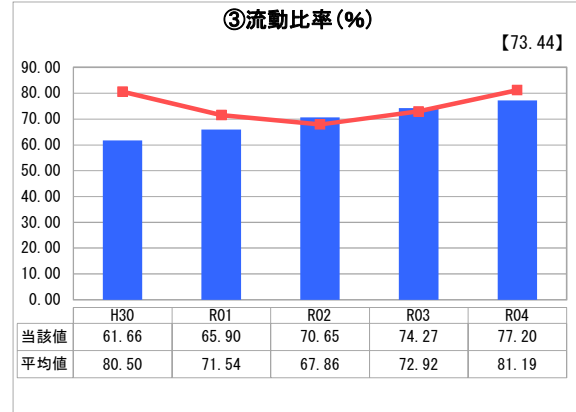
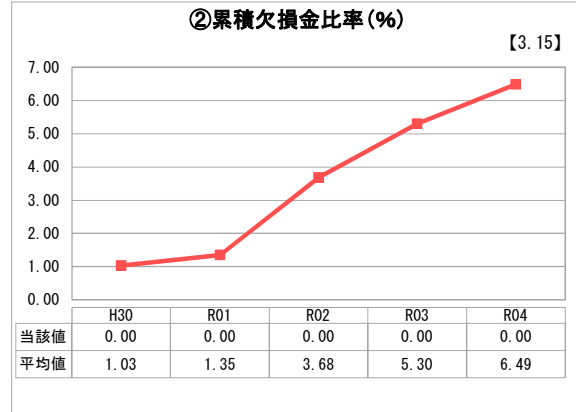
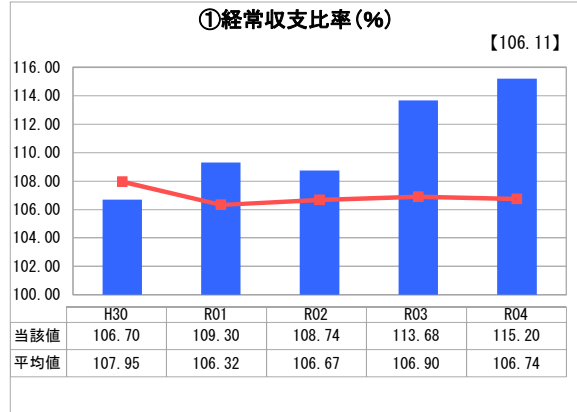
福岡県 福津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.26	95.27	85.37	3,256

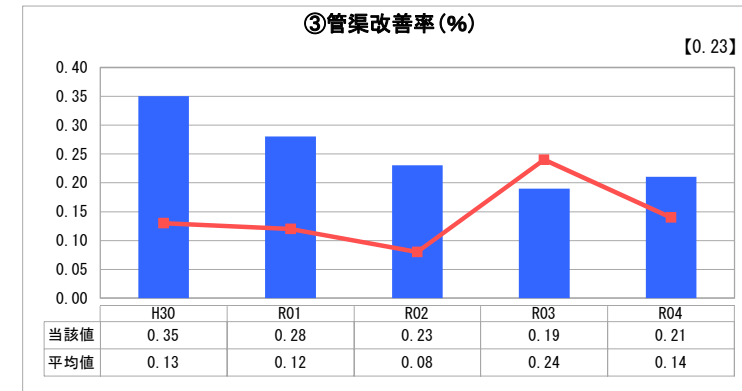
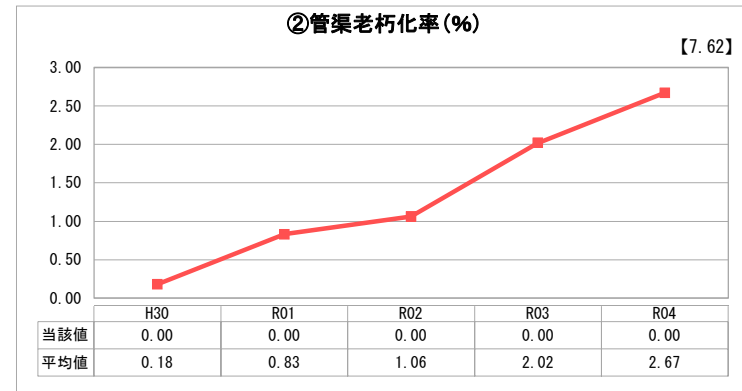
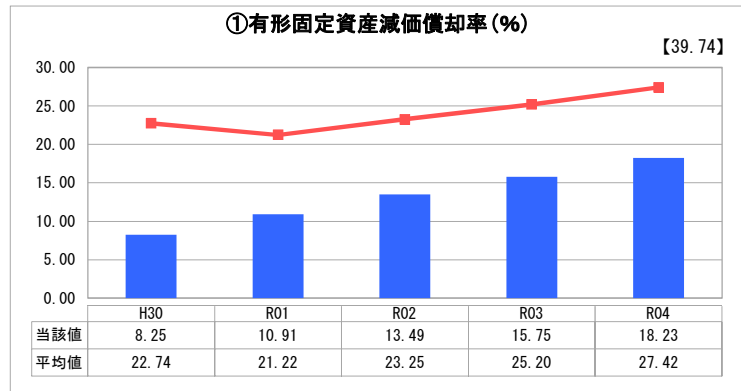
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,481	52.76	1,297.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
65,139	11.91	5,469.27

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
人口の増加や水洗化率の上昇に伴い使用料収入が増加しており、115.20%となっています。ただし、経常収益の中に含まれている基準外繰入金を除いて算出した場合、97.62%と100%を下回り、繰入金に依存した経営状況となっています。

② 流動比率
上昇傾向ですが、100%には至っていません。今後も企業債償還金が増加する予測であるため、資金の確保に努める必要があります。

③ 経費回収率
継続して100%以上を維持しており、健全な状態です。今後も100%以上を維持できるように収入の確保と経費の削減に取り組む必要があります。

④ 汚水処理原価
処理場の地理的要因や、企業債の集中的な借入により利息の支払額が多いこと等から、類似団体の平均値より高くなっています。

⑤ 水洗化率
上昇傾向ですが、類似団体の平均を下回っているため、今後も継続促進に向けた努力が必要です。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
本市の下水道整備時期が遅かったこともあり、類似団体と比較して低い状況ですが、上昇傾向にあります。早期に宅地開発された大型団地では耐用年数を迎えた管渠もあり、老朽化対策として、ストックマネジメント計画に基づき、順次、管路調査や改築・更新を実施しています。

全体総括

管渠築造や処理場建設等の集中的な整備により、本市全体の普及率は、平成17年度の23.8%から大きく向上し、令和4年度では99.6%に達しました。経常収支は前年度に引き続き黒字となりましたが、繰入金への依存度が高い経営状況です。今後も使用料収入は微増する見込みである一方、企業債償還額の増加や、施設の老朽化に伴う修繕・更新費用の増加、物価の高騰等により、経営状況はより厳しくなることが予測されます。これらの状況を踏まえ、平成28年度に策定した経営戦略を、令和5年度中に改定する予定です。経営戦略の中で今後の収入の確保、経費の削減、施設の長寿命化の在り方について検討し、自立した経営に向けた方針を策定していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。